



西原小学校では、昨年度から「自己を見つめ、他者のよさに気づき、互いに認め励まし合う子どもの育成」を目指し、子どもたちの「心の教育」をテーマに研究をしています。キラリ通信第2号では、4年生の取組を紹介します。

〈4年生の道徳〉 教材名「いじめといじり」

ゆうきのクラスでは昨日のバラエティー番組が話題になっていた。1人の芸人さんをみんなで水をかけていじめていた番組だ。みんな笑っていたが、ゆうきのお母さんが「よってたかって笑っていじめじゃないの。」と言ったことがゆうきの心に引っかかっていた。その日の3時間目。まさる君が先生に聞かれたこととちがうことを答えて、みんなはどっと笑った。まさる君も笑った。するとみかさんが「今のなになが面白かったのかな。」と言った。「今の笑っていいのかな。」「まさる君は本当に気にしてないのかな。笑われていやじゃなかったのかな。これじゃあいじめじゃない。」まさる君は何も言わずにうつむいていた。げんき君が「いじめというよりいじりだよ。仲がいいからしょうだんだってわかるし。」しかし、ゆうきは「げんき君の言いたいことはわかるよ。まさる君も笑っていた。でも本当はどんな気持ちなのかな。」……という内容である。



登場人物の心情や気持ちの変化が分かる構造的な板書。



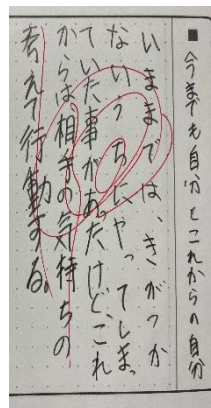
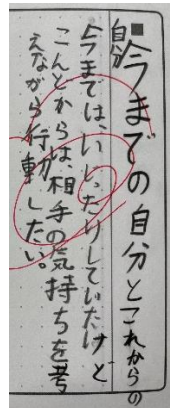
僕の考えとはちがうけど、その考えもいいね。



変化が
分かり
やすい
四象現
表。



話合いの後、自分の考
えを記入します。



授業後「気づき・なるほど・もっと」の観点で振り返りを行います

子どもの振り返りから

- ・ わらってることが、みかさんの言葉でいじめかなと思った。まちがえただけなのに笑ったらいけない。
- ・ 今までにはたまに言ってしまっていたけど、これからは、相手がいやな気持ちになるからいじりをなるべくしないようにする。

きりとり

西原小学校の「心の教育」について御理解いただけたでしょうか。御感想をお寄せいただけるとありがたいです。

(7月19日〆切)

() 年 () 組 名前 ()